



大鋸の丘

2025（令和7）年3月（臨時号）

藤沢市立大鋸小学校

校長 山崎 晋治

2024年度 よりよい学校づくりのためのアンケート結果と考察

今年度も、3・5年生の児童と保護者、教職員、学校関係者による、よりよい学校づくりのための学校評価アンケートを実施いたしました。

※小数点以下を四捨五入して表記されているため、100%にならない項目があります。

【児童アンケートの結果より】

3年生

項目	番号	内容	そう思う	ほぼそう思う	あまり思わない	思わない	よくわからない
元気な子	1	学校では、友だちと元気に遊んだり勉強したりしている。	59%	28%	8%	1%	4%
よく考える子	2	勉強でも生活でも、よく考え、けじめのある行動をしている。	34%	50%	11%	2%	4%
ねばり強い子	3	できないことがあっても、あきらめずにできるまで頑張ろうとしている。	43%	38%	13%	2%	5%
思いやりのある子	4	誰にでも優しく、思いやりの気持ちをもって行動している。	31%	50%	13%	2%	3%
生活	5	先生や友だちに、進んであいさつをしている。	38%	38%	16%	8%	1%
	6	係や当番(委員会)などの仕事を、進んで行っている。	53%	37%	6%	3%	1%
	7	学校のきまりを守っている。	43%	44%	8%	4%	2%
学習	8	毎日の学習は、だいたい理解できている。	48%	39%	7%	4%	2%
相談	9	何でも話したり、話を聞いてあげたりする友だちがいる。	67%	24%	4%	0%	5%
	10	学校には、いじめなどこまったときに、話を聞いてくれる先生がいる。	61%	25%	10%	1%	3%
情報	11	家族に学校の様子を話している。	48%	31%	16%	6%	1%
安全	12	身の回りの安全について気をつけている。	59%	33%	3%	1%	4%

5年生

項目	番号	内容	そう思う	ほぼそう思う	あまり思わない	思わない	よくわからない
元気な子	1	学校では、友だちと元気に遊んだり勉強したりしている。	75%	24%	0%	2%	0%
よく考える子	2	勉強でも生活でも、よく考え、けじめのある行動をしている。	34%	54%	9%	2%	2%
ねばり強い子	3	できないことがあっても、あきらめずにできるまで頑張ろうとしている。	49%	36%	12%	2%	1%
思いやりのある子	4	誰にでも優しく、思いやりの気持ちをもって行動している。	55%	39%	4%	1%	2%
生活	5	先生や友だちに、進んであいさつをしている。	43%	43%	11%	2%	2%
	6	係や当番(委員会)などの仕事を、進んで行っている。	74%	21%	3%	2%	1%
	7	学校のきまりを守っている。	68%	27%	5%	1%	0%
学習	8	毎日の学習は、だいたい理解できている。	56%	39%	4%	0%	2%
相談	9	何でも話したり、話を聞いてあげたりする友だちがいる。	79%	15%	2%	3%	1%
	10	学校には、いじめなどこまったときに、話を聞いてくれる先生がいる。	64%	22%	11%	2%	2%
情報	11	家族に学校の様子を話している。	61%	29%	8%	2%	1%
安全	12	身の回りの安全について気をつけている。	79%	19%	2%	0%	0%

【保護者アンケートの結果より】

3年生保護者

項目	番号	内容	そう思う	ほぼそう思う	あまり思わない	思わない	よくわからない
教育目標・指針	1	学校は、教育目標や指針を分かりやすく示している。	19%	57%	13%	0%	12%
生活	2	子どもは楽しく学校に行っている。	49%	42%	8%	1%	0%
	3	子どもは家庭や地域で、進んであいさつをしている。	15%	51%	23%	6%	5%
	4	子どもが食事や睡眠など、規則正しい生活をするよう促している。	52%	48%	0%	0%	0%
学習	5	学校は分かりやすい授業に努めている。	30%	53%	6%	0%	10%
	6	保護者は、子どもの家庭学習に協力している。	35%	50%	13%	2%	0%
	7	子どもは学習をだいたい理解している。	27%	59%	10%	0%	3%
相談・支援	8	学校は保護者が相談できる体制を整えている。	22%	49%	9%	6%	14%
	9	学校は、子どもの話をていねいに聞き、いじめ防止等に努めている。	13%	53%	13%	2%	19%
情報	10	学校は、適切な情報発信に努めている。	20%	56%	13%	1%	10%
	11	子どもから、学校の様子を聞いている。	42%	44%	12%	0%	2%
	12	保護者は、学校や学年からのたよりを読んでいる。	72%	22%	6%	0%	0%
安全	13	学校は、子どもの安全・防災・防犯等、子どもの安全確保に努めている。	35%	58%	2%	0%	5%

5年生保護者

項目	番号	内容	そう思う	ほぼそう思う	あまり思わない	思わない	よくわからない
教育目標・指針	1	学校は、教育目標や指針を分かりやすく示している。	19%	54%	20%	0%	6%
生活	2	子どもは楽しく学校に行っている。	46%	42%	10%	1%	1%
	3	子どもは家庭や地域で、進んであいさつをしている。	22%	49%	27%	3%	0%
	4	子どもが食事や睡眠など、規則正しい生活をするよう促している。	59%	35%	4%	1%	0%
学習	5	学校は分かりやすい授業に努めている。	24%	54%	14%	3%	5%
	6	保護者は、子どもの家庭学習に協力している。	33%	49%	13%	4%	1%
	7	子どもは学習をだいたい理解している。	25%	63%	9%	1%	1%
相談・支援	8	学校は保護者が相談できる体制を整えている。	24%	52%	13%	3%	9%
	9	学校は、子どもの話をていねいに聞き、いじめ防止等に努めている。	19%	49%	13%	6%	13%
情報	10	学校は、適切な情報発信に努めている。	24%	56%	15%	0%	5%
	11	子どもから、学校の様子を聞いている。	39%	46%	11%	3%	1%
	12	保護者は、学校や学年からのたよりを読んでいる。	62%	35%	3%	0%	0%
安全	13	学校は、子どもの安全・防災・防犯等、子どもの安全確保に努めている。	38%	53%	4%	1%	4%

Google フォームを活用したウェブ上での回答となり3年目ですが、保護者の回答率が下がってしまい、3年生5年生ともに、65%前後でした。より有意義なデータになるよう回答率を上げるため、学校としても期間の延長や周知方法を工夫してまいりたいと思います。ご協力いただき、誠にありがとうございました。

主なものについては、考察を記載いたしました。保護者の皆様におかれましても、このアンケート結果から、ご家庭での様子を振り返っていただければと思います。

【教職員アンケートの結果より】

項目	番号	内容	そう思う	ほぼそう思う	あまり思わない	思わない	よくわからない
教育目標・研究	0	学校教育目標・校内研究テーマを目指して教育活動を行っている。	22%	67%	11%	0%	0%
元気な子	1	子どもたちが、楽しく充実した学校生活になるよう努めている。	67%	33%	0%	0%	0%
よく考える子	2	よく考え、けじめのある行動をするよう指導している。	56%	41%	4%	0%	0%
ねばり強い子	3	最後までやり遂げられるよう継続した支援を行っている。	48%	52%	0%	0%	0%
思いやりのある子	4	互いに認め合い、思いやりのある児童の育成に努めている。	78%	22%	0%	0%	0%
生活	5	子どもたちが、場に応じた自然なあいさつができるよう指導している。	44%	48%	7%	0%	0%
	6	子どもたちが、自主的自発的に活動できるよう努めている。	44%	52%	4%	0%	0%
	7	子どもたちに、基本的な生活習慣の定着を図っている。	59%	37%	4%	0%	0%
学習	8	分かりやすく、楽しい授業づくりに努めている。	44%	56%	0%	0%	0%
相談	9	一人一人を大切にした教育活動に努めている。	63%	37%	0%	0%	0%
	10	児童の様子を共有し、組織的な児童指導・児童支援を行っている。	59%	33%	7%	0%	0%
情報	11	学級や授業等の情報を発信し、家庭との連携に努めている。	44%	48%	4%	0%	4%
安全	12	児童の安全確保のため、環境整備や安全・防災・防犯指導に努めている。	52%	44%	4%	0%	0%

教職員アンケートについては、全職員で行っております。「あまり思わない」「思わない」という回答も見られますが、学年や学級の子どもの実態に合わせて、自身が大切にしたいところに差があったと考えます。また、校内研究において、学年ごとのアプローチ（内容）を取り入れたことも要因と考えられます。大鋸小学校として何を大切にし、どのように取り組んでいくのか。学校教育目標をしっかりと共有しながら、学校運営に努めてまいります。

【学校関係者アンケートの結果より】 ※単位 人

項目	番号	内容	そう思う	ほぼそう思う	あまり思わない	思わない	よくわからない
教育目標・指針	1	学校は、教育目標や指針を分かりやすく示している。	3	5			
生活	2	子どもたちにとって、学校は楽しい場所になっている。	5	3			
	3	子どもたちは、家庭や地域で、進んであいさつをしている。	3	4	1		
学習	4	学校は分かりやすい授業に努めている。	2	5			
	5	家庭は、子どもの学習に関心をもっている。	3	5			
相談・支援	6	学校は、保護者が相談できる体制を整えている。	5	3			
	7	学校は、子どもの話をていねいに聞き、いじめ防止等に努めている。	5	3			
情報	8	学校は、適切な情報発信に努めている。	6	2			
安全	9	学校は、子どもの安全・防災・防犯等、子どもの安全確保に努めている。	6	2			

※一部未回答があり、合計人数が異なる項目があります。

学校関係者アンケートについては、学校運営協議会の皆様をお願いしております。児童・保護者・教職員アンケートの結果をご覧いただき、今年度の学校運営を振り返りながら、来年度の学校運営の基本方針に活かせるよう、ご意見をいただきました。学校ホームページに第5回学校運営協議会の議事録が掲載されていますので、そちらもご覧ください。「多くの人が協力できる学校になるよう、学校に関わる全ての人が、他人事にならず、自分事として参加できるといいですね。」という感想もいただきました。PTAとも協力しながら、学校からの発信方法や内容についても、更に工夫が必要と考えています。

【考察】

- 児童の項目「1・2・3・4」の、めざす子どもの姿に関連したアンケートでは、どの項目も「そう思う」、「ほぼそう思う」の回答を合わせると、概ね80%以上となることから、学校生活に前向きに取り組んでいる児童が多いと思われる。一方で、「あまり思わない」「思わない」と回答している児童も一定数いて、それらの児童は、他の項目においてもネガティブに答えている傾向がある。一人ひとりを大切に、主体性や自信を更に育てていけるような、取り組みや声かけを工夫していきたい。
- 「よくわからない」と答えている児童は5年生よりも3年生が多い傾向がある。自分を客観的に見ることの難しさが、発達段階に表れているのではないだろうか。
- 児童の項目「先生や友だちに進んであいさつをしている」の項目では、肯定的な回答が3年生で約76%と、他の項目と比べて低くなっている。「あまり思わない」を選択している児童も3・5年生ともに、他の項目と比べてやや高めである。また、保護者アンケートの中でも、「子どもは家庭や地域で、進んであいさつしている」の項目では、「あまり思わない」の割合が高くなっている。あいさつの大切さを考えさせるような声かけを進めるとともに、自然とあいさつができるよう、お互いに顔を知っている関係になることも大切だろう。コミュニティ・スクールなどを通して、学校・家庭・地域が連携して取り組んでいきたい。
- 児童の項目「誰にでも優しく、思いやりの気持ちをもって行動している」では、肯定的な回答が5年生で約94%と、高い数値を示している。教育課程に「かわりやふれあい」を大切にした教育活動を位置づけ、上級生が下級生に接することで、相手の立場になって考える経験ができたのではないだろうか。一方で、「あまり思わない」と回答している児童もいる。他者とのかわりの中で、思いやりの心を育んでいってほしい。
- 児童の「毎日の学習は、だいたい理解できている」の項目について、3・5年生とも肯定的な回答を合わせると90%前後である。また、保護者の「子どもは学習をだいたい理解している」の項目についても、85%を超えていることから、概ね理解ができていると考えられる。しかし、一方では、「あまり思わない」「思わない」と答えている児童もいるので、介助員や学習支援員等との連携も深めながら、一人一人に寄り添った、より丁寧な指導を続けていきたい。
- 「何でも話したり、話を聞いてあげたりする友だちがいる」「学校には、いじめなどこまったときに話を聞いてくれる先生がいる」の項目について、肯定的な回答が85%以上あることから、多くの児童が安心して学校に通うことができていると考えられる。一方で、「あまり思わない」、「思わない」と回答している児童もいる。児童一人一人の様子に気を配り、アンテナを高くして児童理解にあたっていきたい。また、児童支援担当教諭やスクールカウンセラー、同じ学年の教員など、担任以外にも話しやすい環境作りに努めていきたい。
- 保護者アンケートの「相談・支援」の項目については、「よくわからない」と回答している割合が例年高い傾向にあるので、学校としての周知活動も更に工夫しなければならないと感じている。学校では、「いじめ防止対策基本方針」を策定したり、児童支援担当教諭やスクールカウンセラーなどを配置したりしている。また、各学年にも支援担当の職員を配置し、相談にはチームとして対応できるようにしているので、引き続き発信していきたい。
- 児童アンケートの「家族に学校の様子を話している」では、肯定的な回答が、3年生では79%、5年生では90%という結果であった。保護者アンケートの「子どもから、学校の様子を聞いている」の結果は、3・5年生ともに約85%となっている。この項目で、「あまり思わない」という回答をした児童が、なぜそのように思ったのか、学校と保護者が、それぞれの視点で考えていかなければならないと感じる。話したくても話せない児童もいるかもしれないので、話しやすい雰囲気作りやきっかけ作りも大切になってくるのではないだろうか。
- 安全についての項目では、児童・保護者ともに肯定的な回答が多くみられた。学校では、時代や社会の状況に合わせ、計画的に防災・安全に関わる訓練をしてきた。また、熱中症対策や不審者情報なども、必要に合わせて指導してきた。教育委員会や警察、地域との連携を更に深め、ハード面での整備も含め、引き続き、緊張感をもって対応していきたい。